

第30回

うつのみやこども賞だより

平成25年度 4回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『アサギをよぶ声』

森川成美／著（偕成社）



～読んだ本の感想より～

●アサギが今までとは全くちがう「女が戦士をめざす」ことをつらぬいていた。私だったらきっと父のことであんなに言われたら立ち直れない。そこも乗り切って大会に出たり、自分の父のことを知ろうとしていた。アサギは強くなったと思う。

●どんなにつらくても、ゆめをあきらめなくてすごいと思った。

●戦士にはなれなかったけど、アサギがそれ以上のものを手に入れたりできてよかったと思う。

●女は女、男は男ときめつけなくがんばっているアサギがかっこよかった。

●大切なことを知れて良かった。アサギが助けてアサギのことを助けてくれた不思議なサルは、アサギのお父さんダイの生まれかわりではないかなあと思いました。

●アサギをよぶ声はだれなんだろうと不思議に思いました。

『おれたち戦国ロボサッカー部！』

奈雅月ありす／著（ポプラ社）

●部活で仲間と協力して連けいプレーをするのはすばらしいことだと思いました。

●部員が歴史の人物になっているのがおもしろかった。

●イエヤスとノブナガは色々ぶつかり合っていたけれど、イエヤスが改造をゆるしてくれたから二人の仲がちぢまったんじゃないかなと思った。

●ロボサッカーはプログラムをたてたりしないといけないので大変だなと思った。

『ぜんぶ夏のこと』 薫くみこ／著（PHP研究所）

●あんなに仲の良いサヤちゃんがいつもさみしい思いをしているのにだまっていられるはずがない。サヤちゃんの泳ぎをミツキがほころしげに見ている所は私もうれしかった。

●夏といえば海だし、栃木に海はないけれど、海は大好きなのでこの話にあこがれる部分が多かったです。

●漂流してしまった時に二人で言いあいになったのはおたがいの事を思っていた友情の証だと思った。

●おたがいを助け合おうとした姿に感動しました。

『夏っ飛び！』 横山充男／著（文研出版）

●神柱祭に出て十メートルの所から飛び時はらはらした。竜になれたんじゃないか。

●勇人は「飛びたい」という気持ちで飛べてよかったと思う。

●きっと勇人はかっこよくきれいに元気よく飛べたと思います。

●こわがっていた友也が最後に天狗岩から飛べてよかった。

●10メートルの高さから飛ぶのはものすごくこわいことだとわかった。

2013年9月1日